

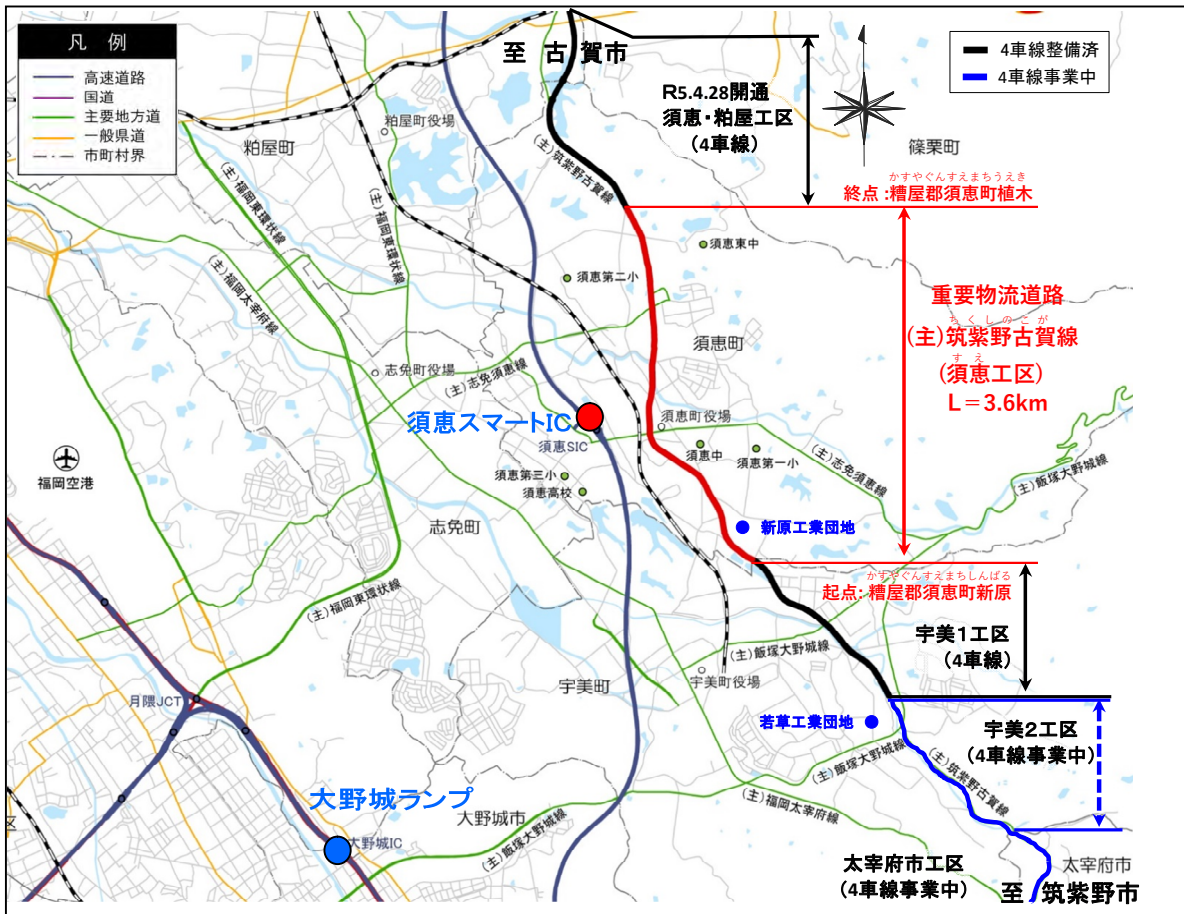
再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課

担当課長名：伊藤 高

事業名	重要物流道路 主要地方道 筑紫野古賀線（須恵工区）		事業区分	地方道	事業主体	福岡県
起終点	自：福岡県糟屋郡須恵町新原 至：福岡県糟屋郡須恵町植木		延長	3.6km		
事業概要	<p>主要地方道筑紫野古賀線は、福岡都市圏の南東部を通過し、一般国道3号を補完する延長約3.3kmの広域的な幹線道路であるが、慢性的な交通渋滞が発生しているため定時性が損なわれている状況にある。当該箇所の整備により、交通容量の拡大による広域ネットワークとしての機能強化及び交通混雑の緩和を図るとともに、沿道に立地する工業団地から九州縦貫道須恵スマートIC・福岡高速道路大野城ランプへのアクセス強化、定時性の確保が期待される事業である。</p>					
H24年度事業化	H17年度都市計画決定	H26年度用地着手	H28年度工事着手			
全体事業費	約90億円		事業進捗率	約32%	供用済延長	— km
計画交通量	27,900～43,200台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	(事業全体) 4.1	(残事業)/(事業全体) 46/83 億円	(残事業)/(事業全体) 341/341 億円	令和5年		
	(残事業) 7.4	事業費：43/79 億円 維持管理費：3.6/3.6 億円	走行時間短縮便益：330/330億円 走行経費減少便益：5.1/5.1億円 交通事故減少便益：6.1/6.1億円			
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量：B/C=3.7～4.5(交通量 ±10%) 事業費：B/C=3.9～4.3(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=3.8～4.3(事業期間±20%)</p> <p>(残事業) 交通量：B/C=6.7～8.1(交通量 ±10%) 事業費：B/C=6.8～8.1(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=6.8～7.7(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 交通容量の拡大による広域ネットワークとしての機能強化及び交通混雑の緩和が図られる。 沿道に立地する工業団地からの九州縦貫自動車道スマートIC・福岡都市高速道路大野城ランプへのアクセス強化、定時性の確保が期待される。 歩行者・自転車利用者の安全で安心な道路空間が確保される。 					
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> 地元自治体から早期の完成要望が行われている。 					
事業評価監視委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続を妥当と認める。 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 周辺環境等に特に変化はない。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> 用地取得率約44%、事業進捗率約32% 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。 					
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> 近隣工区と仮設資材の有効活用を図るなどして、総コストの縮減に努めていく。 					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性、重要性は変化がなく、費用対効果の投資効果も確保されているため。 					

事業概要図



※ 総費用、総受益とその内訳は、各年次の価額を、割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。